

令和5年2月15日
苫小牧港管理組合

港湾工事の脱炭素化を推進します！

～カーボンニュートラルポートの形成に向けて～

苫小牧港管理組合では、苫小牧港のカーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けた取組を進めています。
そのひとつとして、苫小牧港管理組合発注工事において、脱炭素化の取組を開始致します。

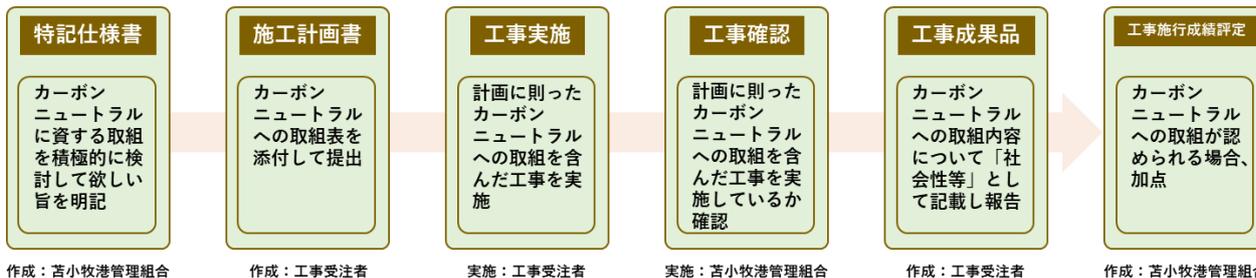
1 取組内容

令和5年4月1日以降、苫小牧港管理組合が発注する請負工事において、受注者自らが行う脱炭素化の取組（任意）の提案を求める。

2 効果等

CNP形成に向けた取組であるとともに、受注者の社会的評価向上につながる。
また、脱炭素化の取組が行われたことが確認できた場合、「工事施行成績評定」で加点評価する。

3 評価・加点スキーム



4 想定している取組事例

分類	取組内容
施工関連部分	低炭素型コンクリート二次製品の使用
	燃料基準達成型や ICT を搭載した建設機械の使用
	発電機にインバーター内蔵型を使用
	車両牽引型レーザープロファイラに代わり、地上型レーザースキャナを使用
工事付属品・保安設備等部分	ポータブル電源・ソーラーパネルによって得た電力を使用
	照明設備に LED 蛍光灯を使用
	リサイクル可能な工事看板木枠を使用
	生活用水に雨水収集によって得た水を使用

【本事業に関する問合せ先】

施設部 施設課

課長 藤田 尚也 (0144-34-6751) 、 課長補佐 岩淵 泰士 (0144-34-5560)

【CNP全般に関する問合せ先】

総務部 港湾政策室

主幹 伊藤 充 (0144-34-5904) 、 副主幹 有澤 博文 (0144-84-8315)